

# 各部・区による自律的政策改革

2018年6月1日  
第1回新潟市政策改革本部会議



新潟市政策改革本部

# 1. 今後のスケジュールと方向性

- ・9月と3月に進捗状況把握（今年度で区切り）
- ・通常の施策，事業立案に自律的政策改革の視点を取り入れる



内容	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
既存案件の推進				
		◎進捗把握（9月）	◎HP公開	進捗把握◎
			◎本部会議報告（9月）	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     4月上旬                      ↓                      5月                      本部会議報告                      ↓                      HP公開                 </div>
収入方法の非現金化 タスクフォース				
・2019年度予算編成				

## 2. これまでの進捗

- ・副市長レビュー(1/31~2/2)を実施
- ・2018年4月末現在で進捗状況把握

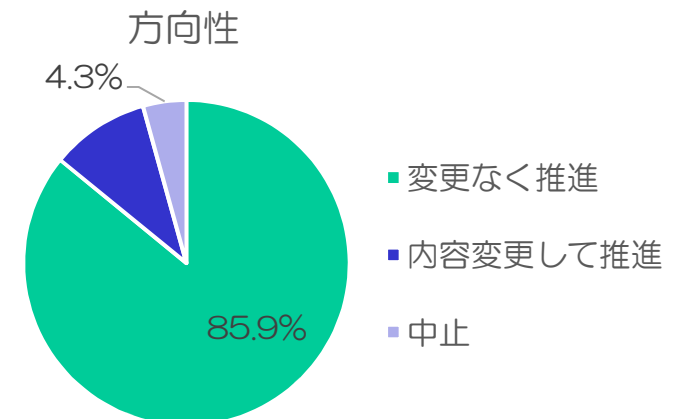
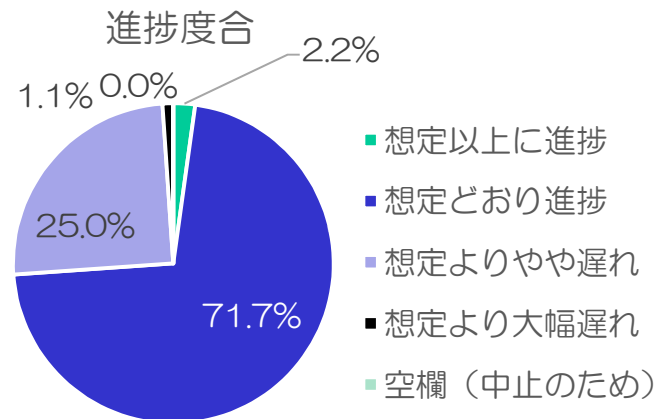
▶副市長ごとに担当部区についてレビュー ⇒ 各案件にアドバイス

▶2018年4月末現在進捗

7割は想定通りに進捗/方向性に変更なし8割5分 ⇒ 半数が「想定通り×変更なし」

### ◆進捗度合（自己評価）

選択肢	件数
想定以上に進捗	2
想定どおり進捗	66
想定よりやや遅れ	23
想定より大幅遅れ	1



### ◆方向性

選択肢	件数
変更なく推進	79
内容変更して推進	9
中止	4

### ◆進捗度合×方向性

	変更なく推進	内容変更して推進	中止
想定以上に進捗	2		
想定どおり進捗	59	6	1
想定よりやや遅れ	17	3	3
想定より大幅遅れ	1		

(件)

### 3. 優良事例の紹介（その1）

- ・ 6つの視点で見た良い事例
- ・ 進捗状況の良い事例

- ①立ち位置を変える
- ②市役所の限界を認識する
- ③新たな技術を取り入れる
- ④事実を把握し確認する
- ⑤縦割りを超える
- ⑥継続する仕組みをつくる



新潟市  
政策改革本部

所管	テーマ	概要	視点	良い点
市民生活部	市民の声の見える化	市民の声を宝の山と捉え、市の政策立案、施策の実行、事業運営などに生かすため、ICT、AIなどによるデータベースとテキストマイニングシステムを活用したシステムを導入する。	立ち位置変える 新たな技術	大切な市民の声を生かそうと、 <b>新たなICTの活用に着目</b> した点
危機管理防災局	避難所開設の効率化に向けた検討	災害発生時の市民避難に混乱を招いたり、職員のマンパワーが不足することが懸念される。避難所の開設基準や運営体制の検討・変更により、将来にわたって開設・運営・閉鎖を確実かつ効率的に実施できる体制を維持する。	市役所の限界 継続する仕組み	市民の安心安全を守ることと、人手不足の解消を両立し、 <b>持続可能な方法を検討、実践</b> した点
土木部	持続可能な維持管理体制の確保と経費節減	「マイタウン・マイ業者制度」の確立による持続可能な維持管理体制確保と経費節減 道路の維持管理業務では、道路パトロール・除草・路面清掃・舗装修繕・街路樹管理・照明メンテナンス・除雪等の業務毎にそれぞれ別々の業者に委託している。これらを一定程度包括して業務委託することで、契約業務の縮減や効率化、更に委託費の低減につながるのではないかと考えられる。また、マイタウン・マイ業者が“地域の見守り隊”になることで、災害時の体制が強化されると考えている。ただし、業界や既存の受託業者が多数存在するため、その合意形成が極めて重要。	市役所の限界 継続する仕組み 事実を把握	今後のインフラ管理のあり方を <b>事実をもとに考え、方法を変えていく</b> こととした点
下水道部	下水道施設の有効利用による財源確保	歳出の縮減を図るとともに新たな歳入を得るため、市民参加による下水道施設維持管理費の縮減と目的外利用による収入を得ることを目標に、調整池の地元管理や貸出し、下水道管理施設における広告掲載、休止施設の貸借を検討し実施する。	立ち位置変える 市役所の限界	現状にとらわれず、 <b>市民サービス向上も視野に入れた下水道施設の目的外活用</b> を打ち出した点
下水道部	下水道管路施設維持業務の包括的民間委託化	管理するストック施設の増加及び老朽管路の急増によるリスクの増大に比例し、維持管理費は着実に増加しており、今後も更に増加していくと想定され財源確保が課題となっている。また、現業職員の減員により直営での維持管理が困難になるため、今後の維持管理業務にかかる体制づくりも課題である。 平成27年度から休日・夜間における管路施設の緊急対応について民間へ委託を試行しているが、将来的には財政面を含め包括的民間委託を実施しなければならない状態になるため、民間委託の試行・課題解決を繰り返しながら、新潟市全域における包括的民間委託化を目指す。	市役所の限界 継続する仕組み 事実を把握	現在一部の施設で実施されている包括的民間委託をリスク増という現実を前提に全市まで広げ、 <b>持続可能な下水道事業の実現を目指している</b> 点

### 3. 優良事例の紹介（その2）

- 6つの視点で見た良い事例
- 進捗状況の良い事例

- ①立ち位置を変える
- ②市役所の限界を認識する
- ③新たな技術を取り入れる
- ④事実を把握し確認する
- ⑤縦割りを超える
- ⑥継続する仕組みをつくる



所管	テーマ	概要	視点	良い点
総務部	効率化と専門性向上の両立を目指した市役所の仕事の見直し	庶務事務などの分散による人的非効率や事務ミスリスクの解消に向けて、総務事務のシステム化、センター化、アウトソーシングの活用などについて総務部を中心に検討・試行を行い、方針を決定する。	立ち位置変える 市役所の限界 新たな技術	経営資源が有限である事を前提に、多面的な効率化を図り、 <b>職員の業務を大きく変える取り組み</b> である点
財務部	ICTを活用した市税納付環境の整備	情報デバイスの変化に対応した情報提供、行政サービスの実現に向け、納税者が自身の市税内容をいつでも確認でき、市税の納付も居ながらにして行えることを最終目標に、ICTを活用した仕組みを構築する。	立ち位置変える 市役所の限界 新たな技術 事実を把握	社会の変化に対応し、納税通知書の廃止等、大胆な改革も含んだ <b>積極的なICT活用を検討</b> している点
秋葉区	施設整備のあり方	区の子育て支援方針に賛同する地元企業・団体がパートナーシップを組み、施設の建設、維持管理、事業運営等を役割分担し、持続可能な施設運営を目指す。	立ち位置変える 市役所の限界	方針変更になったものの <b>新たな施設整備手法の提案</b> であり、実現に向けて取り組んだ点
西区	外国人へのサービスの提供	外国人に対して的確な市民サービスの提供のに向けて、外国人が暮らしても遊んでも、安心して楽しめる新潟とすることを最終目標に、外国人から直接意見を聞き、要望に沿ったまちづくりを進める。	立ち位置変える 市役所の限界 新たな技術	<b>タブレットを使った音声翻訳の実証実験を実現</b> し、全市に先行する取り組みとなった点
西蒲区	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 様式のデザイン変更</li> <li>• 複数部署にまたがる手続き様式の統一化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 婚姻、出生など祝い事に関する手続きは、事務的でつまらないため、記念になるような明るいデザインの様式に変更する。</li> <li>• 総合窓口への対応も考慮し、各部署の手続きが横断的に処理できる統一様式を作成する。</li> </ul>	立ち位置変える	<b>市民起点で手続き様式の改善</b> を区が主体的に考え、本庁とともに <b>実現</b> した点。